

ネクタイもボウタイも

— 締め方の極意と合わせ方の真髄 — すべてがわかる

完全保存版

THE TIE HANDBOOK

タイにまつわる10のクイズ。
あなたはすべてわかりますか？

- 1 とある国の兵士が巻いていた首布が起源とされるネクタイ。どこの国？
- 2 結び下げのネクタイを指す「フォア・イン・ハンド」、その意味は？
- 3 タイクリップ、タイピン、タイタック……これらを総称して何と呼ぶ？
- 4 「レジメンタルストライプ」は向かって右上から？左上から？
- 5 「エブロン」ってどういう意味？
- 6 ネクタイのシワを伸ばす、基本の方法は？
- 7 普段、ネクタイを収納するのに、いちばんいい状態は？
- 8 結んだときに横一直線に見えるボウタイを何と呼ぶ？
- 9 故ウィンストン・チャーチルが好んだボウタイの柄は？
- 10 結ぶのが難しいボウタイ。何を結ぶ要領だとわかりやすい？

この1冊を読めば、ばっちり答えられます！

●WEST POINT社 社長

ステファノ・
ビジさん



達人いわく、ネクタイは

イタリアでのネクタイを語るうえではずせない2人。縦に長い伊達男の国の北と南でそれぞれに発信している彼らの、タイに対する美意識をインタビュー。これからのネクタイ選びの参考になるはず。



よう色別に分け、壁に陳列。クライアントへの配慮だ。



生地を手早くタイの形にしてプレゼン。ちなみに、このストライプ柄はベストセラーだそう。



3代にわたる伝統を受け継ぐネクタイは、創業時と変わらず全工程を手作業で仕立てている。



氏が「マイ・ガールズ」と親しみを込めて呼んでいるお針子さんたちが各パーツを担当する。



11年春夏よりスタートした「エティケッタ・アズーラ」。遊び心溢れる素材使いで本ラインと「線」を画している。

独特な色彩感覚で
スーツに個性を与える
ミラノの洒落者タイ

「パーティーでひと際お洒落な着こなしをしている男性を見かけて、その人をよく見ると自分の作ったネクタイをしている！ そんなときは心の中でガッツポーズをしましうほど嬉しく嬉しい！」

開口一番、笑顔でそう話すステファノ氏。「ステファノ・ビジ」のタイはクオリティが高く、クラシックでいてモダンなデザインが、世界のファッション通から高い評価を受け、日本のセレクトショップでもお馴染みのブランドだ。

「ミラネーゼのスーツはグレーか紺が基本です。だから、素材はもちろん、色、柄、結び方ひとつで自分をさまざまに演出できるネクタイは、男性の装いの中で唯一遊べるパーツ。その人の「パーソナリティ」が表れる場所ととってもいい。そこが魅力だと思います」

だからこそ選びが難しいのでは？
「たとえば今の気分というところ、スモールプリントの細紋やストライプ柄を選ぶと間違いありませんね。さらにおすすりめしたいのは、タイ幅を8cmか8.5cmを目安にする。それだけでかなりスタイリッシュな雰囲気が出ますよ。今年の秋からまた、ジャケットにタイドアップするスタイルがメインになりそうですね。自分に似合う一本を見つけて、ぜひトライしてほしいと思います」

それでも「タイを締めたくない」という人がいたら？という意地悪な質問には、「そういう人は僕のところに来てください。どうしてもし締めたくなるようなタイを、必ず選び出してプレゼントしますから（笑）」と笑うのだった。

STEFANO BIGI

COMPANY'S
PROFILE

1938年、母方の祖父ルジジ・ドラーギ氏によって会社設立。戦後、Pulcherというブランド名で一躍有名になり世界中で販売。2代目の父親の代より現在のWEST POINT社に。'90年、ステファノ氏が受け継ぎ、現在もミラノにて製造まで自社工房で行うという体制。